

安倍内閣閣僚の政党助成金

「人件費」1億円
支出
領収書いらず
追跡不可能

国民の税金を分け取りする政党助成金が導入されてから20年。安倍内閣の閣僚の政党交付金使途等報告書を調べると、支出先の記載や領収書の添付がない「人件費」名目の支出は2013年、14年ともあわせて約1億円にのぼることがわかりました。「人件費」として処理すれば、実際に何に使われたかは、追跡不可能で、透明性を求める声があがっています。
(藤沢忠明)

△ △ △
本紙が2013年分の政党交付金使途等報告書を調べたとこ
ろ、13年に自民党本部から受け取った1200万円の政党助成金を全額、「人件費」に支出したとしていたのは、金子一義元国土交通相（衆院岐阜4区）、中曽根弘文元外相（参院群馬）ら10人いました。首相補佐官の衛藤晟一（せいいち）参院議員（比例）にいたっては、党本部から受け取った1700万円全額を「人件費」として支出していました。（本紙1月14日付）

報告書を調査
今回、調査したのは、安倍内閣の閣僚（公明党の太田昭宏国土交通相のぞく）の13年分の政党交付金使途等報告書。衆院議員は1200万円、参院議員は1900万円の政党助成金を自民党本部から受け取っています。

これによると、菅義偉官房長官（衆院神奈川2区）ら4閣僚は「人件費」の支出がゼロですが、安倍首相と13人の閣僚が多額の「人件費」を支出しています。
(表参照)

	2013年	2014年
安倍 晋三首相	900万 円	800万 円
麻生 太郎副総理財務相	363万8669円	820万 413円
高市 早苗総務相	735万9720円	322万8164円
川上 陽子法相	623万1040円	842万3480円
岸田 文雄外相	695万3188円	746万6452円
林 芳正農水相	779万6705円	962万3986円
宮沢 洋一経済産業相	581万4809円	742万 165円
望月 義夫環境相	769万9607円	701万2063円
中谷 元防衛相	536万7770円	1105万6993円
竹下 亘復興相	1011万 円	1002万7040円
山口 俊一沖縄・北方担当相	721万7180円	709万4249円
甘利 明経済財務相	679万4715円	782万4476円
石破 茂地方創生相	451万4328円	538万7547円
有村 治子女性活躍・行政改革担当相	1130万6723円	509万1356円
計	9980万4454円	1億585万6384円

《注》政党交付金使途等報告書(2013年分、14年分)で作成

このうち、竹下亘復興担当相（衆院島根2区）は、月15万7500円、年間189万円の事務所費を松江市内の空調会社に支出したほか、党本部から受け取った1200万円の残額、1011万円全額をきっちり「人件費」としています。行政改革担当でもある有村治子女性活躍担当相（参院比例）は、1900万円を党本部から受け取り、6割近い1130万円以上を「人件費」に使っています。安倍首相はちょうど900万円を「人件費」に。

安倍首相と17閣僚が受け取った政党助成金は総額2億3000万円。うち「人件費」に支出されたのは、約9980万円、43・4%にのぼります。
顔ぶれ変わらぬ

この傾向は、14年も同様です。同年分の政党交付金使途等報告書を調べると、衆院議員は1900万円、参院議員は1200万円の政党助成金を党本部から受け取り、13年と顔ぶれが変わらず、安倍首相と13人の閣僚が多額の「人件費」を支出しています。安倍首相と17閣僚が受け取った政党助成金の総額3億1400万円のうち、33・7%の1億585万6384円が「人件費」に支出されています。

総務省は、「人件費」の詳細な報告が不要な理由について、「秘書らの年収がわかり、プライバシーにかかわる」などとしています。原資は国民の税金だけに、明細の報告や領収書の添付などが求められています。

本紙の問い合わせに、各閣僚は「法令に従い、適正に報告している」「望月義夫環境相など）、「人件費としてふさわしくない支出はない」（宮沢洋一経済産業相）、「正規雇用の2名分の人件費を政党交付金

第17回 奈良赤旗まつり
11月7日(土)
午前10時～
会場 奈良100年会館
大ホールと時の広場
主催 共産党奈良県委員会

子育て新制度 各地で悲鳴
「えっ!?!」
保育料が4倍超
仙台では共産党追及で軽減

子どもが3人以上いる家庭で大幅に保育料が上がった。こんな事態が各地で起っています。
「6600円から3万3000円と4・6倍になった。とても払えない」（大阪府豊中市）などの声が上がっています。
子ども・子育て支援新制度の実施にあたり安倍政権が、これまで実施していた年少扶養控除の「再計算」をしないと決めたことが原因です。
一方で値上げを撤回させるとりくみもすすんでいます。

4月から多子世帯の保育料値上げをした仙台市では、保護者の訴えをうけた日本共産党市議団の追及により、4月にさかのぼって保育料を引き下げます。
中3、中2、小6、保育園の年長（6歳）、年少（4歳）の5人の子どもがいる加藤由美さん（仮名、40）は、子ども2人分で8290円だった保育料が3万7350円と4・5倍になりました。年間になると34万8720円の負担増です。

驚いた加藤さんは日本共産党の花木則彰市議に相談。同市議は市議会で「『再計算』などの手だてをうち、多子世帯の保育料の軽減を」と何度も求めてきました。同市は「19歳未満の子どもが3人以上」で「実際に保育料が上がった」世帯について、年少扶養控除があるものとして計算し直して「変更通知」を出し、既納分を還付することが2日、明らかにになりました。6日、市議会に報告されま

9月に保育料の改定を実施した自治体が多く、各地で保育料値上げに対する集団での異議申し立ての動きも広がっています。
2015年10月3日(土)

2015, 10, 06 NO, 730
日本共産党
磯城郡議員団だより
和也 Eメール info@k-shiba.jp
結崎 862-7 0745-43-2415
西町 Eメール katunori_yosida@ybb.ne.jp
容工 大木 113-5 090-5257-4446
吉田 町 森 良子 Eメール qfndg008@ybb.ne.jp
田原本 町 鍵 281-1 0744-33-8570
森 良子 Eメール uvkk87386@zeus.eonet.ne.jp
池田 としお Eメール uvkk87386@zeus.eonet.ne.jp
三宅町 屏風 440-5 0745-43-2661



輝け、日本国憲法!

この所の週末は、好天に恵まれています。何をするにも都合よく行けていませんか? いよいよ、食欲・スポーツ・読書: 等々、様々に形容される秋本番です。存分に謳歌して下さいね。

さて、安倍内閣の立憲主義を踏みにじって突き進むその姿勢に、各界、各層、各方面からの批判と懸念の声がどんどん膨らんでいます。無理やり成立させといて、「戦争法」と言われる事をレッテルと称してはりますが、自身は、海外での紛争に日本国として加わる仕組みを、「したらあかん」とする憲法を無視して作つたんですから、正真正銘の戦争法以外の何物でも有りませんよね。

で、次の手は景気の回復と言うてはりますが、厳しい国民生活の転換には繋がりにそうにも有りません。それは、財界に言われて、社会保障を必要に感じた給付から負担に感じた給付への切り替えです。ここには、憲法に照らして必要な財源を如何に工面するのかの見方は何処にも有りませんから、枠をはめた財源の範囲内にしかしはりませんので、必要に応じた手立てから負担に応じた手立てになってしまいます。やっばり、立憲主義は憲政の基本中の基本ですね。これを欠いた秩序は為政者の思う壺以外の何物でも有りません。

川西町議会議員 芝和也



住民監査

請求その二

先日、やまと広域環境衛生事務組合(以下、一部事務組合)に住民監査請求を提出しました。

一部事務組合には、地元自治会(栗阪、小殿、朝町)の周辺環境整備事業補助金の原資として基金が四億五千万円が積み立てられていました。

(内、本町拠出額は一億七百万円)平成二五年四月に栗阪自治会が、「全戸の合併処理浄化槽を入れ替える」という内容で補助金二億円を受取っていました。その年の九月に、私は「虚偽の見積書を基に請求されたもの」と住民監査請求しました。が、「違法な支出はない」と監査結果が出ました。ところが、今年の四月に、太陽光発電事業に二億円を投じると用途を変

更されていることが判明しました。しかも、見積書のある具体的な事業は二件二千五百万円のみで、残りの一億七千四百万円は、平成二八年度と二九年度に具体化すると説明されていきました。

そこで今月、①当初事業計画が取りやめになった経緯と理由を明らかにされたい②具体化されていない事業に対応する補助金の返還を求めるよう勧告せよと、住民監査請求しました。

結果は、十二月に出ますのでまた報告させていただきます。なお、基金は本件の二億円を含めて約三億五千万円交付されていて、現在は約一億円の残高になっています。

田原本町議会議員 吉田容工



この「秋」

詩(森 良子作)

もう来年の「ちひろのカレンダー」が届いた

でも 今年もまだ三ヶ月ある

やりたい事が私の心のカバンの中には

まだ一杯残っている

時の流れを遅く感じる人もいるだろうが

私の時計はどうしてこんなに早いのだろうか?

妙なことを思う

手帳に書いた予定をこなしていく日々だが

いろんな事が起こる

スマホに写メが来た! 小学校の運動会で六段ピラミッドの頂点に立つて

両手を広げている細身の孫娘の姿

見せ場を作るより どうか孫を安全に・・

と願う

「ランドセル買ったよ!」と大き過ぎるランドセルを背負っている春には一年生になる孫の姿

六年間そのランドセルと一緒に頑張れと祈る

介護施設で働く知人が語る

職員がどんどん辞めていく

給料は上がらず仕事はきつくなるばかり

転職が頭をかすめると言う彼 笑顔が消えていく

原発 沖縄 TPP

どうなるの?

国民連合政府実現の提案に

希望を見出すこの秋

田原本町議会議員

森良子



幼稚園の運動会

三宅幼稚園の運動会が3日あり、初めて参加してきました。

0歳から5歳までの保育園と幼稚園を一体とした幼稚園ですので、保育士に抱っこされている子、開会式で座っている子、元気で行儀良くしている子様々でした。保護者も兄弟姉妹や、未就園者、父母、祖父母など小学校と違う方々が来られていて園の運動場がいっぱいになっていました。

かけっこでも、3歳児、4歳児、5歳児を見ましたが1年間の成長がいかに早いかがよくわかります。

池田年夫 三宅町議会議員

5歳児の「三宅キッズ太鼓」は統一したりズムで、組体操では「5歳児になればここまでできるのだ」という演技を披露して見せてくれました。

4・5歳児の「一緒に走ってね」では2回も駆り出されて園児と楽しんできました。

また来賓・PTA・5歳児の「そくらくおんど」に参加した時は園児らの手のぬくもりが伝わってきました。

保育士さんの日々の指導の大変さがよくわかった運動会でした。

池田年夫 三宅町議会議員

